

国労東日本 第29回定期大会開催!

戦争法案廃案、「安全・安定」輸送確立 労働条件改善、グループ会社対策 山積する課題を組織強化・拡大に!



議長
東京地本
八郷代議員

副議長
東京地本
金子代議員

大会初日は、宮崎副委員長長の司会で始まり、議員長には八郷代議員（東京地本・新橋支部）、副議長には金子代議員（東京地本・上野支部）を選出しました。

国労東日本本部は、8月24～25日に第29回定期大会を埼玉県・さいたま市で開催し、代議員の真摯な討論から、運動方針と「労働条件に関する協約」改訂要求を確立しました。また、規約の一部改正では、婦人部から女性部への変更を48名全代議員の賛成で可決。役員改選では、菊池忠志新委員長以下、新執行部（別掲）を選出し、終了しました。

開催にあたり松井委員長は3点に亘り挨拶（別掲）を行い、その後、各来賓の挨拶を受け、財政議題、経過報告に対する7名の質疑を受け、全体

の拍手で承認し休会となりました。

2日目は、機関紙・組織拡大標語の表彰から再開し、運動方針（案）に対する18名の代議員発言を踏まえ佐藤書記長が集約、全体の拍手にて採択をしました。その後、規約改正及び予算（案）の承認を行い、役員改選では選挙で菊池新委員長を選出し、全代議員の賛成でスト権を確立、その後「戦争法案廃案、原発再稼働反対、労働法制改悪反対、憲法改悪に反対し平和と民主主義を守る特別決議」、「大会宣言」を採択し、新委員長の団結ガンバローで終了しました。



国労東日本本部 第29回定期大会

国鉄労働組合
東日本本部



（組合員の購読料は組合費に含まれます）
港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 伊藤隆夫

No. 768 定価 20円
2015年
9月7日

第29回定期大会
特集号その1

QRコードからでも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>



委員長挨拶 要旨
（全文はHPに掲載）
状況・環境そして
情勢の変化に対応

第一の課題は、日本を戦争する国にさせないという第一の取り組みです。

昨年7月1日の集団的自衛権行使の閣議決定から僅か1年で、多くの国民が反対し与党自らが招請した憲法学者までもが違憲とした「安全保障関連法案」＝「戦争法案」を衆議院で強行採決し、現在参議院での「審議」中です。時間が経過すればするほど同法案が如何に危険極まりないかが表面化しています。

私たちは、あらゆる仲間たちと連携・連帯して「戦争法案」廃案の闘いを更に進めていかなくてはなりません。

第二の課題はJRの安全・安定輸送の確立を目指す取り組みです。

一昨年来のJR北海道における一連の事故・不祥事は大きな社会問題となり、JRへの信頼を大きく失墜させることとなりました。問題はJR北海道に限定されたものではなく、とりわけJR東日本においてもお客様自身の犠牲者は出てはいないものの、一歩間違えば重大事故に繋がりがかねない重大トラブルや重大なインシデントは後を絶ちません。

2001年の「設備メンテナンス再構築」施策見直し交渉で、組合側の「外注化の問題を含めて現状の認識を」の問いに、会社側は「JRは発注者でありパートナー会社は受注者である」との回答を記憶しています。施策実施から10年以上が経過し、いつしか会社は経営の哲学から経営の力学へと変遷したと痛感しました。哲学からは学ぶことも出来、また、人を創ることもできませんが、力学からは強者・弱者を生み出すだけで人を育てることは出来ません。

私たちが働く鉄道業は、各々の坦務・セクションの完成度が横断的結実を持って完結されず、したがって上下関係等の力学的な要素は時として横断的な結実を破断させます。安易な

外注化が事故やトラブルの主要な要因と成りかねない労働組合が指摘する根拠が此処にあります。その為にも仕事の議論を基軸にした「職場・安全総点検」の取り組みの更なる強化が求められています。

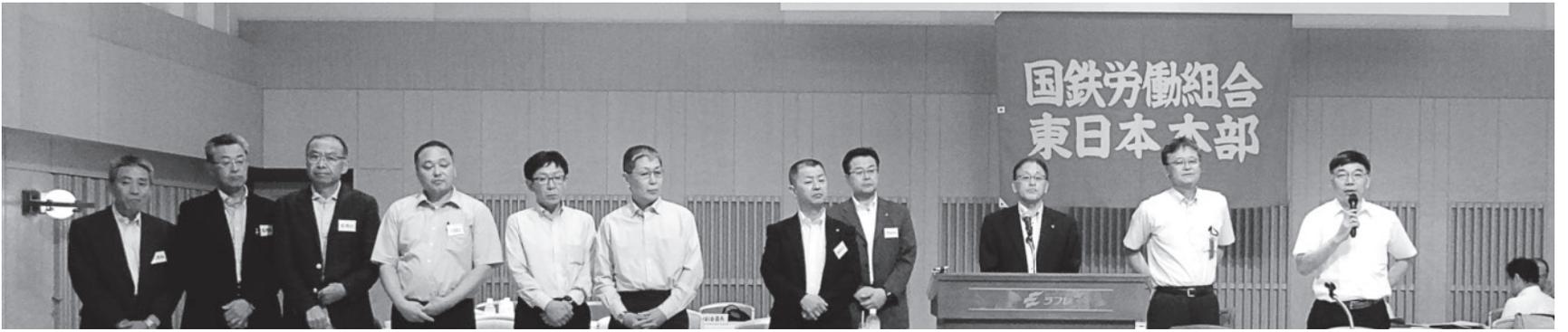
第三の課題は組織の強化・拡大と国労運動の継承と更なる発展についてです。

2006年のJR東日本との全係争事件一括和解以降の復帰・加入者は100名を超え、昨年の大会以降では〇〇名を数えています。改めて皆さんに敬意を表します。

来年2月で国労は結成70年の節目の年を迎え、また、分割・民営化によって生み出された1047名不採用問題が解決して実質4年が経過しています。JR会社発足から30年を数える今日、国鉄を知らない世代を含めて平成採用の社員が約60%に至っています。

私たちが国労が状況・環境そして情勢の変化に対応出来ているのか、対応しているのかという課題に直面しています。

2013年4月に首都圏の駅職場の受託会社として発足したJR東日本ステーションサービスは、本年7月から水戸、千葉及び高崎支社の各鉄道サービス会社の営業部門を吸収して7支社での事業展開となっています。東日本本部は発足当初から労使関係の窓口として、昨年5月1日付で「労使間協約」を締結すると同時に組織化を目的に取り組みを進めてきました。その一環として意識調査アンケートを実施しましたが、回答の多くは労働組合の必要性は分かりますが、「JESSにはJESSの労働組合が必要だ」という声は圧倒的でした。そうした中、本年6月にプロパー社員の労働組合が立ち上がり、同時に国労東日本本部に対して協力と連帯の要請が来しました。東日本本部としては、JRグループ全体に国労運動を展開するという立場から積極的に関わっていく考えです。最後になりますが、先に開催された第84回定期全国大会の書記長集約及び、満場一致で採択された運動方針に基づき東日本本部は運動の先頭に立つて奮闘すること表明し挨拶いたします。



退任役員・ごくろうさまでした

松井 正義 執行委員長
 2007年・第21回定期大会から執行副委員長を1期2年。2009年・第23回定期大会から書記長を2期4年。2013年・第27回定期大会から執行委員長を1期2年、歴任致しました。

矢部 雄一 執行委員
 2009年・第23回定期大会で執行委員に選出。3期6年、法対、賃対、業務関係の任務に携わりました。

再選された役員

- 【会計監査員】 照井 幸男 稀原 直 東平 賢一
 【執行委員】 樋口 孝重 武笠 秀也 武田 幸喜 伊藤 隆夫 佐藤 正幸
 【書記長】 宮崎 浩則

- 東日本本部委員 定数17名
 ○盛岡地本 小林 良宏
 ○秋田地本 小泉 正直
 ○仙田地本 宇佐美 久蔵
 ○新潟地本 石塚 和弘
 ○高崎地本 佐藤 透
 ○水戸地本 出羽 秀行
 ○千葉地本 加藤 晃一
 ○長野地本 矢澤 栄雄
 ○東京地本 岸本 靖夫
 ○青木 敏一
 ○佐藤 孝幸
 ○勝又 敏幸
 ○熊田 信浩
 ○大橋 崇彦



菊池 忠志 執行委員長



渡辺 信之 執行委員

新執行部 よろしく
お願いいたします



拡大に結びつく組織拡大標語

- 【最優秀】
結びつき つながり生かして 大胆に 国労加入を訴えよう!
 東京 / 増田 静治
- 【優秀】
- 次世代のために仲間をつくらうあなたの手で 秋田 / 高橋 誠
 - 確かな運動 広がる信頼 拡大の芽がここにある 東京 / 泉田 義巳
 - 強めよう分会活動 広げよう共感を 拡大しよう一人の仲間を 東京 / 鈴木 郁夫
 - 気持ち良く 本音で 話せる組合に 長野 / 西沢 千秋

機関紙 表彰 組織拡大標語

機関紙表彰

紙名	号数	地本	発行機関
団結	500号達成	仙台	仙台総合車両所支部
かもつ分会ニュース	72	水戸	水戸貨物分会
国労高崎	58	高崎	高崎地方本部
支部情報	100	秋田	秋田総合車両センター支部
蘇我運輸区分会ニュース	61	千葉	千葉支部
郡工情報	53	仙台	郡山工場支部
連結器	51	東京	新橋支部
分会かべしんぶん	77	東京	新橋支部
スクラム	51	長野	長野総合車両所支部
支部日報ダイジェスト版	特別な冊子	秋田	秋田総合車両センター支部
団結	39	仙台	仙台総合車両所支部
国鉄新潟	32	新潟	新潟地方本部
国労水戸	32	水戸	水戸地方本部
分会通信	48	仙台	貨物分会
ろばた	31	仙台	東北工事事務所分会
国労なかでん	33	東京	中野電車区分会

アフラック 最新のがん保険、新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
 \NEW/
新生きるためのがん保険 Days

女性特有のがんにも手厚い
 \NEW/
新生きるためのがん保険 Days

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
 TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
 (引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
 東京第二法人営業部
 〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
 Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
 AF広告課-2014-0044-1412506 8月25日

来賓

【関東交運労協】 大和田正樹 副議長
 【全国交運共済【東日本事業本部】】 橋本昭二 副本部長
 【国鉄労働会館】 伊藤秀樹 専務理事
 【国労本部】 坂口智彦 委員長
 【東日本本部】 海渡雄一 弁護士
 【顧問弁護団】 福田 護 弁護士

ありがとう ございました

メッセージ

国労北海道本部 国労東海本部
 国労西日本本部 国労四国本部
 国労九州本部